

平成 28 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明  
(コード番号 2743 JASDAQ)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建  
電 話 03-6731-3414

## 中央電子工業株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月 31 日開催の取締役会において、以下のとおり、中央電子工業株式会社（代表取締役：金田創、本社：東京都品川区、以下「CDK 社」）を子会社化するためにその持株会社であるフジブリッジ株式会社の株式を取得することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式の取得の理由

CDK 社は、昭和 27 年 8 月に特殊通信用真空管の開発・製造を目的に設立され、昭和 48 年から高周波ディスクリット半導体（※1）製品の生産を開始し、高周波（RF）半導体（※2）製品に関して 40 年以上の経験と生産実績を有しております。また、熊本と台湾に工場を保有し、日本及び台湾に設計・製造・営業拠点を保有し（※3）、CDK 社は 40 年以上の経験と生産実績を基に、お客様の設計ニーズを満たすパッケージング技術（※4）の提供や高周波（RF）設計技術及びパッケージング技術を用いた RF スイッチ（※5）、超低雑音 HEMT（※6）等の自社半導体製品の開発・販売を行い、CDK 社の強みである、RF 特性を最大限に引き出すパッケージから、信頼性評価サービスまでのトータルソリューションを提供しております。

（※1）ディスクリット半導体とは、トランジスタ、ダイオード、コンデンサ、サイリスタなど単機能の素子の総称です。「個別半導体」、「単機能半導体」ともいいます。

（※2）RF とは、電磁波や電気信号の内、無線通信に利用できる周波数のもので、RF 製品はスマートフォン、携帯電話、ゲーム機、自動車、パラボラアンテナ等身の回りのさまざまな製品に使用されております。

（※3）グループ相関図をご参照ください。

（※4）パッケージング技術とは、より多くの回路を半導体チップ上に集積させる技術のことです。

（※5）スマートフォンや無線 LAN などの無線通信機器の送信／受信信号の切り替えや内蔵アンテナと外部アンテナの切り替えに使用されるスイッチのことです。

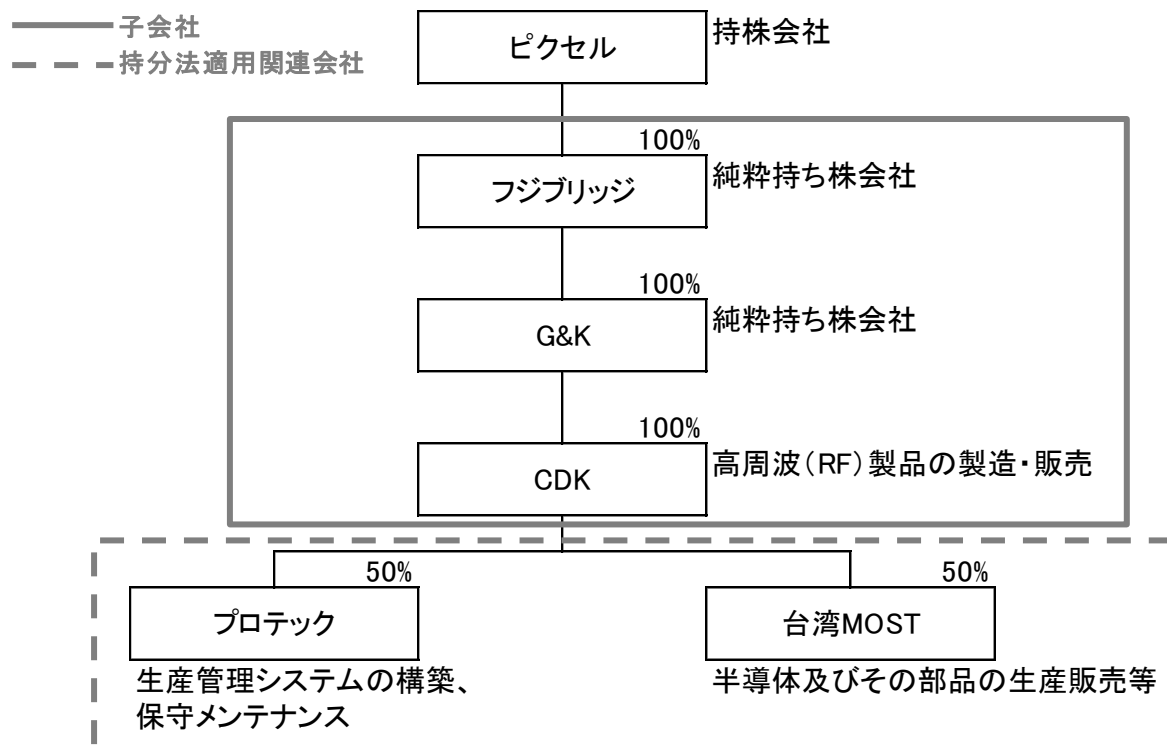
（※6）基板への低リーク電流（低リーク電流とは、電子回路上で、絶縁されていて本来流れないはずの場所・経路で漏れ出す電流のことです。）と低い対地容量（漏れ出す電流等が低いこと）のため、高周波素子に使用されるものであります。

【CDK 社の強み】

- ・ RF Design・・・シミュレーションを駆使した特性改善（チップ、パッケージ、評価ボード）
- ・ Packaging・・・RF 特性を重視した中空パッケージ技術  
フレキシブルかつ迅速なパッケージソリューションの提供
- ・ RF Testing・・・高い処理能力を有する RF テスト
- ・ Manufacturing・・・大量生産実績の経験（1.5 億個／月 以上）
- ・ Qualification・・・信頼性評価・解析に関する各種保有機器・技術を活用し、課題解決～サービス提供

また、今後は市場規模の拡大が著しい IoT・IoE 分野においても、RF 製品・技術を通し参入することにより、更なる飛躍が可能であると想定しております。（IoT とは、Internet of Things の略であり、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことです。IoE とは、Internet of Everything の略であり、モノに紐づいた情報だけでなく、場所に紐づいた情報や、人に紐づいた情報など IoT よりも広い概念であります。）CDK 社が持つ RF 製品・技術は、モノに受信機能を持たせるためには、必要不可欠なものであり、今後 IoT や IoE が普及することにより、需要が高まるものと想定しております。

【グループ相関図】



- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| ピクセル   | ピクセルカンパニーズ株式会社(当社)      |
| フジブリッジ | フジブリッジ株式会社              |
| G&K    | 株式会社G&Kコーポレーション         |
| CDK    | 中央電子工業株式会社              |
| プロテック  | 株式会社プロダクションテクノロジーセンター九州 |
| 台湾MOST | 頻光半導體股份有限公司             |

一方、当社グループは、消耗品商材（マーキングサプライ品（プリンタ廻りの消耗品）、化粧品・美容商材等）を全国の有力な卸・小売業者、サロン、カタログ・インターネット通販企業向けに卸販売する卸売事業と太陽光発電施設の販売・取次及び施工等を行う環境関連事業を主力事業として展開しております。

当社は、平成 27 年 8 月 12 日に公表した「第三者割当により発行される新株式及び第 3 回新株予約権の募集に関するお知らせ」のとおり、当社グループが今後、収益を確保し、かつ、安定的に成長していくためには、既存事業だけではなく新規事業分野においても積極的な M&A や業務提携を行い、事業育成及び収益基盤の構築をしていくことは、当社グループの安定基盤の確立並びに企業価値向上に資するものと考えております。なお、CDK 社の株式取得は上記の目的達成に寄与するものと考えており、上記の増資資金及び借入資金をもって株式の取得資金等に充当する予定であります。

当社が CDK 社の株式を取得することで、当社グループは新たな事業ドメインを取得することとなります。当社グループの消耗品商材の卸売り事業において、これまで培った商社としての機能を活用し、各社の垣根を越え、製品開発、販売先の開拓を行うことにより、当社グループ全体の収益基盤の拡充が図れるものと考えております。また、CDK 社は主要取引先の 1 社において、より利益率の高い自動車向けなどの大型の半導体へコア商品をシフトしたことにより、最近の売上高及び営業利益が低下しております。しかしながら、当社にてコスト削減等に取り組むことから、CDK 社の株式取得後は営業利益の増加を想定しております。

以上のように、当社グループは新たな事業ドメインを獲得すること、また、今後グループ各社の垣根を越えた取り組みが行える環境が整うことにより、当社グループ全体の収益基盤の拡充が図れ、企業価値向上につながるものと判断いたしましたので、株式取得（子会社化）を決定いたしました。

## 2. 中央電子工業株式会社の概要

(1) 名称	中央電子工業株式会社	
(2) 所在地	東京都品川区西五反田一丁目 3 番 8 号五反田御幸ビル 9 階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 金田 創	
(4) 事業内容	半導体製品の開発・製造（高周波デバイス及びセンサーデバイスの開発～製造）	
(5) 資本金の額	40 百万円	
(6) 設立年月日	昭和 27 年 8 月 18 日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社 G&K コーポレーション (100%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (※1)			
	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
純資産 (千円)	972,755	1,164,630	1,520,097
総資産 (千円)	6,306,455	6,197,629	5,624,324
1株当たり純資産 (円)	12,159	14,557	19,001
売上高 (千円)	8,677,322	8,196,512	6,852,534
営業利益 (千円)	339,510	92,638	36,798
経常利益 (千円)	547,618	211,935	310,912
当期純利益 (千円)	12,706	201,874	365,467
1株当たり当期純利益 (円)	158	2,523	4,568
1株当たり配当金 (円)	125	125	—

(※1) CDK単体の経営成績及び財政状態となります。

#### フジブリッジ株式会社の概要

(1) 名称	フジブリッジ株式会社	
(2) 所在地	東京都千代田区平河町二丁目8番10号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 金田 創	
(4) 事業内容	株式の保有	
(5) 資本金の額	3百万円	
(6) 設立年月日	平成26年12月19日	
(7) 大株主及び持株比率	クラウドバンク EI1 号合同会社 (100%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

(9) 当該会社の最近1年間の経営成績及び財政状態 (※1)	
	平成27年9月期
純資産 (千円)	△23,459
総資産 (千円)	1,823,337
1株当たり純資産 (円)	△390,988
売上高 (千円)	16,504
営業利益 (千円)	△6,677
経常利益 (千円)	△26,406
当期純利益 (千円)	△26,459
1株当たり当期純利益 (円)	—
1株当たり配当金 (円)	—

(※1) フジブリッジ単体の経営成績及び財政状態となります。

株式会社 G&K コーポレーションの概要

(1) 名称	株式会社 G&K コーポレーション	
(2) 所在地	東京都品川区西五反田一丁目 3 番 8 号五反田御幸ビル 9 階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 金田 創	
(4) 事業内容	株式の保有	
(5) 資本金の額	3 百万円	
(6) 設立年月日	平成 26 年 11 月 21 日	
(7) 大株主及び持株比率	フジブリッジ株式会社 (100%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
(9) 当該会社の最近 1 年間の経営成績及び財政状態 (※1)		
	平成 27 年 3 月期	
純資産 (千円)		311,042
総資産 (千円)		2,225,886
1 株当たり純資産 (円)		23,267
売上高 (千円)		—
営業利益 (千円)		△25,518
経常利益 (千円)		△33,101
当期純利益 (千円)		△33,198
1 株当たり当期純利益 (円)		—
1 株当たり配当金 (円)		—

(※1) G&K 単体の経営成績及び財政状態となります。

参考：簡易連結経営成績等（※1）

当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態及び平成28年3月期見込				
	平成25年3月期 (※2)	平成26年3月期 (※2)	平成27年3月期 (※3)	平成28年3月期 (見込)(※3)
純資産(千円)	3,947,252	4,420,044	1,289,937	1,357,124
総資産(千円)	7,223,450	7,381,446	7,234,546	4,186,197
売上高(千円)	8,677,322	8,196,513	6,366,640	6,012,139
営業利益(千円)	354,001	114,098	△457,359	△95,402
経常利益(千円)	618,261	497,543	38,322	1,499,216
当期純利益 (千円)	442,538	482,792	87,995	544,765

(※1) 対象会社は連結財務諸表を作成していない会社であります。今後、当社の連結対象となることから、一定の仮定を置いて、簡易連結貸借対照表及び簡易連結損益計算書を作成しております。なお、本表については、未監査であります。

(※2) 連結範囲：CDK、ファルコン（※4）、持分法適用範囲：プロテック、台湾 MOST

(※3) 連結範囲：フジブリッジ、G&K、CDK、ファルコン、持分法適用範囲：プロテック、台湾 MOST

(※4) ファルコンとはCDKの100%子会社であり、グループの不動産保有を目的として設立されましたが、平成28年3月23日付でCDKと合併しております。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	クラウドバンク EI1 号合同会社	
(2) 所在地	東京都港区六本木七丁目4番4号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 橋村 純	
(4) 事業内容	再生可能エネルギー発電事業 有価証券及び信託受益権の取得、保有、処分及び管理	
(5) 資本金	金1,000円	
(6) 設立年月日	平成26年12月22日	
(7) 純資産	△23百万円	
(8) 総資産	701百万円	
(9) 大株主及び持分比率	クラウドバンク CA 株式会社 100%	
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)						
(2) 取得株式数	60株 (議決権の数：60個) (議決権所有割合：100%)						
(3) 取得価額	<table border="0"> <tr> <td>フジブリッジ株式会社の普通株式</td> <td>800百万円</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー費用等(概算額)</td> <td>15百万円</td> </tr> <tr> <td>合計(概算額)</td> <td>815百万円</td> </tr> </table>	フジブリッジ株式会社の普通株式	800百万円	アドバイザー費用等(概算額)	15百万円	合計(概算額)	815百万円
フジブリッジ株式会社の普通株式	800百万円						
アドバイザー費用等(概算額)	15百万円						
合計(概算額)	815百万円						
(4) 異動後の所有株式数	60個 (議決権の数：60個) (議決権所有割合：100%)						

(注) 取得価額については、両社から独立した第三者機関である南青山 FAS 株式会社（東京都港区、代表取締役 仙石実）による価値評価（DCF 法）に基づき、かかる評価額の範囲内（727 百万円から 916 百万円）において合理的に決定しております。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 28 年 3 月 31 日
(2) 株式売買契約締結日	平成 28 年 4 月 1 日（予定）
(3) 株式譲渡実行日	平成 28 年 4 月 1 日（予定）

6. 今後の見通し

本件に伴い、当社の連結業績に寄与する見込みではありますが、連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、適正かつ合理的な数値の算出が可能になりました段階で公表いたします。

(参考) 当期連結業績予想（平成 28 年 2 月 15 日公表分）及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 28 年 12 月期)	16,500	210	150	120
前期連結実績 (平成 27 年 12 月期)	15,921	45	34	1

以上